

3月上旬配本予定

組立-転回

(通算3号)

B5変形182×182mm
978-4-9907574-0-3 C3070
本体1700円

- 表紙
組立 - 転回のためのエスキース 中山雄一朗
- 鼎談
可能なる美術館 コレクションとアーカイヴ
蔵屋美香・林道郎・藪前知子・上崎千(ゲスト)
/コンセプト 上田和彦

- 論考
描画/演奏——石田尚志論 沢山遼
橋本聡の映像 石岡良治

- 震災という未曾有の出来事を経験しても「自然とは何か」という問いが
日本の現代美術から発せられないのは何故か 井上幸治
- 機械の冥界と魂の冥界/井上実《空地の端》をめぐって 古谷利裕
- ロバート・ラウシェンバーグ メディウムを超える抽象 上田和彦
- 露出された地層 笹岡啓子「Remembrance」 永瀬恭一
- シンポジウム 今、ここにある美術批評(誌)
川人寧幸・櫻井拓・星野太・松浦寿夫/司会 永瀬恭一

可能なる芸術

「組立-転回」は画家による美術批評誌です。画家と批評家、美術館と自主企画展、美術批評誌相互の緊張に満ちた内容になっています。書籍の至る所に闘争線が引かれています。それは作家・批評家を越えた作品・記述への闘争線であり、美術館・自主企画展を越えた作品・展示への闘争線です。

美術館や美術教育が行き詰まる中、美術批評誌こそが、今を支える芸術のプラットフォームです。作品は常に生まれている。今回の書籍が同時代作品への論及を大きな柱としているのは、生々しい現実に対応した結果です。受胎した命がその環境に関わらず無目的なまでに、自らに訪れる死とも無関係に生きてしまうように、芸術は可能である事を「組立-転回」は改めて確認しています。



「組立-転回」上田和彦×永瀬恭一
+ゲスト:中山雄一朗 展
東京造形大学CS-lab
2014/3/3~3/15(日曜休) 10:00~18:30

3月8日に対話企画「自己教育としての美術
なぜ作家が企画を立てるのか?」開催
ゲスト:原田裕規(美術家/「ラッセンとは何
だったのか」編著) 入場無料
<http://kumitate.org/>

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX: 03-3721-1922

TEL:03-6715-6121 <http://tsubamebook.com>
mail:info@tsubamebook.com

貴店名 (番線印)	新刊	組立 http://kumitate.org/	返品条件付注文扱い	返品了解	ツバメ出版流通: 川人
	冊	組立-転回 (通算3号)			
ご担当: 様	冊	本体1700円 978-4-9907574-0-3 C3070 B5変形182×182mm			
貴店名 (番線印)	既刊	組立 http://kumitate.org/	返品条件付注文扱い	返品了解	ツバメ出版流通: 川人
	冊	組立 知覚の臨界 978-4-9901830-9-7 2010年刊 縦25cm横21cm ¥1,600 上田和彦、境澤邦泰、阪根正行、佐藤雄一、柴田晃宏、田中秀和、永瀬恭一、林道郎、星野太、松浦寿夫			
	冊	組立 作品を登る 978-4-9906359-0-9 2012年刊 A5横 ¥1,400 高木秀典、有原友一、佐藤雄一、松浦寿夫、大山エンリコイサム、郷原佳以、境澤邦泰、上山和樹、水野亮、永瀬恭一			
ご担当: 様	冊				